

お天気データサイエンス

サービス案内

Maximize the Value

気象データの真価を発揮する

Concept

コンセプト

気象データ提供・利活用サポートサービス

気象データの真価を発揮し、
暮らしを安全・安心で、
より豊かなものへ



私たちの生活や様々な経済活動は地球という星の上で営まれています。

地球は豊かである一方で、その大気は雨や雪、風、寒暖の変化等の現象をもたらし、地上では地震、津波、火山噴火といった現象も発生するため、そこに生きる人間や動植物は自然現象に適応し続けてきました。

そして、現在、私達人間の社会では情報化が進んでおり、天気予報や防災情報などの気象情報に触れる機会がとて多くなっています。

今や気象情報は、人間社会において欠かせない、命や財産を守る重要なデータの一つになりました。さらに近年では計算技術や分析技術が発達し、「データサイエンス」や「ビッグデータ」といった言葉の出現が象徴するように、業務プロセス改善や生産性向上のために気象データを扱う企業も増えてきました。

お天気データサイエンスは、地球コミュニケーションプロバイダーである日本気象株式会社が自然現象と人間社会の懸け橋となるべく、様々な気象データを提供し、その利活用を支援するサービスです。

皆様がこのサービスを通して、気象データの真価を発揮し、暮らしが安全・安心で、より豊かなものになることを願います。

About

気象データ提供サービスについて

特徴
01



こだわりぬいた

「プレミアム気象データ」

気象データサイエンティストが
納得のいくまでこだわりぬいて開発。

特徴
02

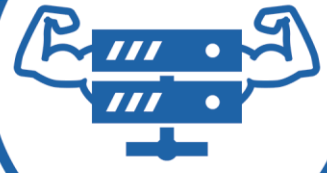


Web 完結の簡単手続き &

自在な配信設定

登録後最短 2~3 営業日でデータ配信。
配信設定も簡単自在に設定可能です。

特徴
03



信頼性の高い配信システム

配信システムは冗長化等により
信頼性の高い構成です。

サービス概要

	お天気データサイエンス	他社 API サービス
提供データ	・領域全体(日本全国、地球全体など)のデータファイル ※一部、XML 形式や JSON 形式の地点データがあります。	1 地点のデータ
配信方法	・リアルタイムデータのオンライン配信 PUSH 方式(FTP、SFTP)、GET 方式(HTTP) ※1 ・過去データのダウンロード配信	API 方式
料金※3	・データ種類と期間に応じた課金	アクセス数に応じた従量課金
用途	・気象情報の表示・加工等を行うサービス、コンテンツ ・データ分析(データサイエンス) ・気象予報業務	特定地点の気象情報を表示するコンテンツ等
特徴	・気象データを柔軟かつ自由に加工、分析することができる。 ・リアルタイム配信は、同じデータを継続すると月額固定料金であるため、費用が見積もりやすい。 ・必要な設備・手続きを揃えれば、予報業務許可取得も可能。※2	・無料~低料金で気軽に使える。 ・加工、分析には不向き。 ・エンドユーザーが多くなるほど費用が増大する。

※1 データによっては PUSH 方式、GET 方式どちらかのみとなります。

※2 予報業務許可については気象庁にお問い合わせください。

提供データの種類

気象庁データ

(バイナリ形式、GRIB2 形式※)

気象庁の提供するデータです。

数値計算に利用しやすい形式ですが、解析には専門知識が必要です。

※一部 CSV、XML 形式もございます。

テキスト変換済み気象庁データ

(CSV、XML、JSON 形式)

バイナリ形式等の気象庁データを

使いやすいテキスト形式に変換したデータです。

プレミアム気象データ

(バイナリ、CSV 形式等)

気象データサイエンティストがこだわりぬいて開発した

オリジナルの気象データです。

How to

ご利用方法

STEP1

ユーザー登録して、データサンプル・仕様書の確認

ユーザー登録(無料)頂くと、気象データのサンプル・仕様書をダウンロードしてご確認頂けます。

STEP2

有料サービス登録

登録完了後、管理画面から気象データの配信設定が可能となります。

※お申込みは法人様限定となります。

※ご契約締結方法は、クラウドサインによる電子契約(押印不要)、もしくは、利用申込書にご記入・押印のうえご提出のどちらかです。

※お手続きには2～3営業日程度のお時間を頂きます。登録完了はメールでお知らせします。

Data List

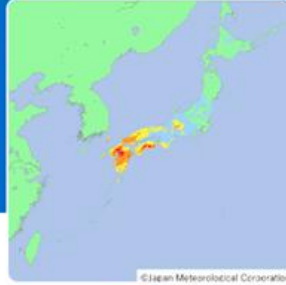
気象データの一例



注目

気象庁データ

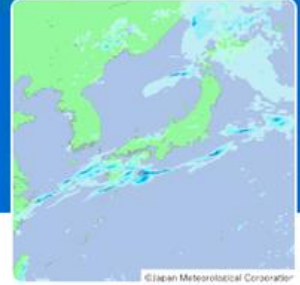
- ◎ 解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報



注目

テキスト変換済み気象庁データ

- ◎ TEXT-土壌雨量指数



注目

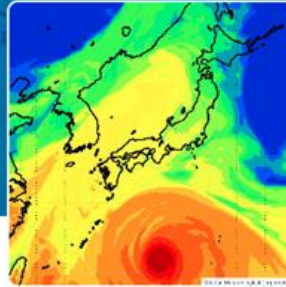
気象庁データ

- ◎ MSM-GPV



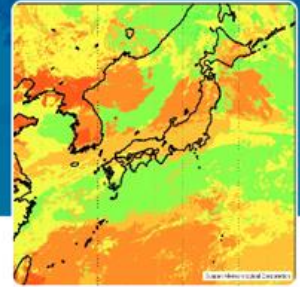
テキスト変換済み気象庁データ

- ◎ TEXT-高解像度降水ナウキャスト(40km四方領域)



プレミアム気象データ

- ◎ MSM-GPV大気の熱力学に関する物理量



プレミアム気象データ

- ◎ 2kmメッシュ推計日射量

</xml>

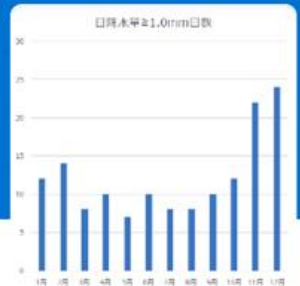
プレミアム気象データ

- ◎ 虹情報



テキスト変換済み気象庁データ

- ◎ TEXT-地上気象観測1分値CSV



テキスト変換済み気象庁データ

- ◎ TEXT-地上気象観測・アメダス統計データ(10分値・時別値・日別値)

Company Profile

会社概要

社名	日本気象株式会社 Japan Meteorological Corporation	
本社	〒530-0011 大阪市北区大深町 4-20 グランフロント大阪タワーA 29F ・ TEL: 06-6567-2222 ・ FAX: 06-6485-3697	
東京オフィス	〒106-6134 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー34F ・ TEL: 03-5786-3312 ・ FAX: 03-6804-3412	
デンマークオフィス	Building 108, DTU Link, Frederiksborgvej 399, 4000 Roskilde, Denmark (デンマーク工科大学リソキャンパス (DTU Risø) 内) ・ TEL: +45 2559 6285	
代表者	代表取締役 鈴木 正徳	
設立	1985年1月21日	
資本金	1000万円	
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行	
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア、スマートデバイス事業 ・IoT、ロボティクス事業 ・ビッグデータ解析、気象モデル開発事業 ・気象データ提供、クラウド型サービス事業 ・農業・健康医療・観光向け事業 ・道路・海上・航空運航管理向け事業 ・気象予報、危機管理情報監視事業 ・再生可能エネルギー、洋上風力発電コンサルティング事業 ・大気環境アセスメント、気象観測、シミュレーション事業 ・気象観測機器等輸出入販売事業 ・気象予報士講座、防災・環境・理科教育支援事業 	
主な取引先	テレビ・ラジオ・新聞各社 航空・鉄道・道路・海運会社 通信・情報・インターネット事業者 電気・ガス・水道事業者 保険・医療事業者 農業・建設・物流・レジャー事業者 他多数	国土交通省・環境省 内閣府・総務省・防衛省 地方公共団体 財団法人 大学・研究開発機関 海外事業者
取得認証	気象庁予報業務許可第53号 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 「ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014」認証取得 (本社・東京オフィス)	
	   IS652977 / ISO27001	